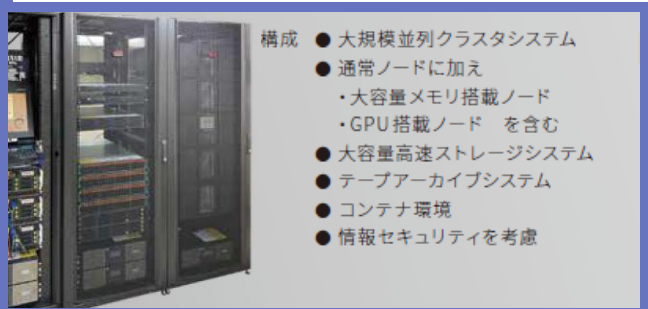




GPU サーバでAI 解析も稼働するマルチオミックス解析基盤システム

- 本社所在地：〒111-0052
東京都台東区柳橋二丁目1番10号
第二東商センター1号館
- 事業概要：（主力商品・サービス）
量子・AI・HPC技術を活用した次世代型
物流・ITサービスを提供
- 常時使用する従業員：15名
（2024年12月期）
- 現在の売上高：13億円
（2024年12月期）
- 法人番号：7010501029126
- Webサイト：<https://www.v-t.co.jp>

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
鬼澤 慎

ビジュアルテクノロジー株式会社（企業理念・ミッション）

Purpose（存在意義）：「JAPAN Technologyの発展とBottom UP」ユーザー指向に基づいたHPC、AI、量子コンピューティングを全ての分野に拡大普及し、日本経済活性化に貢献します。

Vision（ビジョン）：「コンピューティングパワーで全ての人々を幸せに!!」HPC、AI、量子コンピューティングの拡大普及に尽力することにより、社会の環境改善や人々の生活改善に貢献し、この分野において日本で一番信頼される会社となります。

Mission（使命）：HPC、AI、量子コンピューティングをEnterpriseでの利用だけでなくPersonalで誰でも扱えるテクノロジーとして、全ての分野に拡大普及させます。そのためにこれらの最新技術を用いたシステムおよびサービスの提供することで産業界の発展と地域創生、活性化を実現させることをミッションとして取り組んで参ります。

当社は創業以来HPC技術で研究開発支援を行ってきました。今後は「物流×量子×AI」を核に「量子AIクラウドデータセンター」を推進し、2029年度までに売上100億円を目指します。この取り組みは物流改革・CO₂削減・働き方改革にも貢献し、グループの知見と最先端技術を融合して世界水準のソリューションを創出します。社員一同、お客様・パートナーと共に未来社会の実現に邁進します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2029年度に売上高100億円達成を目指します。

「物流×量子×AI」を核とする「量子AIソリューション事業」および「量子AIクラウドデータセンター事業」を主要な成長ドライバーとし、今後5年間で飛躍的な売上拡大を実現します。

既存のHPC・AIソリューション事業も、先端技術との連携により付加価値を高め、安定成長を図ります。

これにより、全社として年平均成長率約49.94%を達成し、目標を実現します。

課題

量子AIクラウドデータセンター：最先端の量子コンピュータ・HPCを導入し、SaaSプラットフォームを早期構築、数十億円規模投資に見合う収益モデルと高い信頼性を確立。

物流×量子×AIソリューション：旗艦事例を創出し、配送・倉庫・サプライチェーン最適化を横展開、導入効果の可視化と支援体制を整備。

人材・組織強化：量子・AI・HPC・データサイエンス・物流知見を持つ専門人材を採用・育成し、部門横断かつアジャイルな開発体制を構築。

エコシステム構築：技術パートナーや研究機関と連携して「物流量子AIエコシステム」を主導的に形成し、グループシナジーで競争優位を維持。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

1.中核事業：

量子AIクラウドデータセンター構築・サービス展開

最先端量子コンピュータとHPCリソースを集約し、セキュアかつ拡張性あるSaaS型プラットフォームを早期に構築・運用数十億円規模の段階的投資で収益モデルを確立し、物流最適化など高度計算ニーズに応える環境を提供

2.量子AIソリューション事業の本格展開：

物流向けにリアルタイム配送・倉庫・サプライチェーン最適化ソリューションを開発・実証し、グループ網で全国展開

製造・金融・製薬分野への横展開で新規市場を開拓し、戦略的エコシステムによる共創を推進

3.HPC・既存AIソリューションの高度化と収益基盤強化：

既存顧客向けHPC導入支援やAIモデル開発、プラットフォーム提供を深耕

4.事業成長を加速する基盤整備：

量子アルゴリズムやAI研究開発へ継続投資し、技術優位性を強化

実施体制

全体統括：私、代表取締役社長の鬼澤慎がプロジェクト最高責任者として、全社横断で宣言達成を推進します。

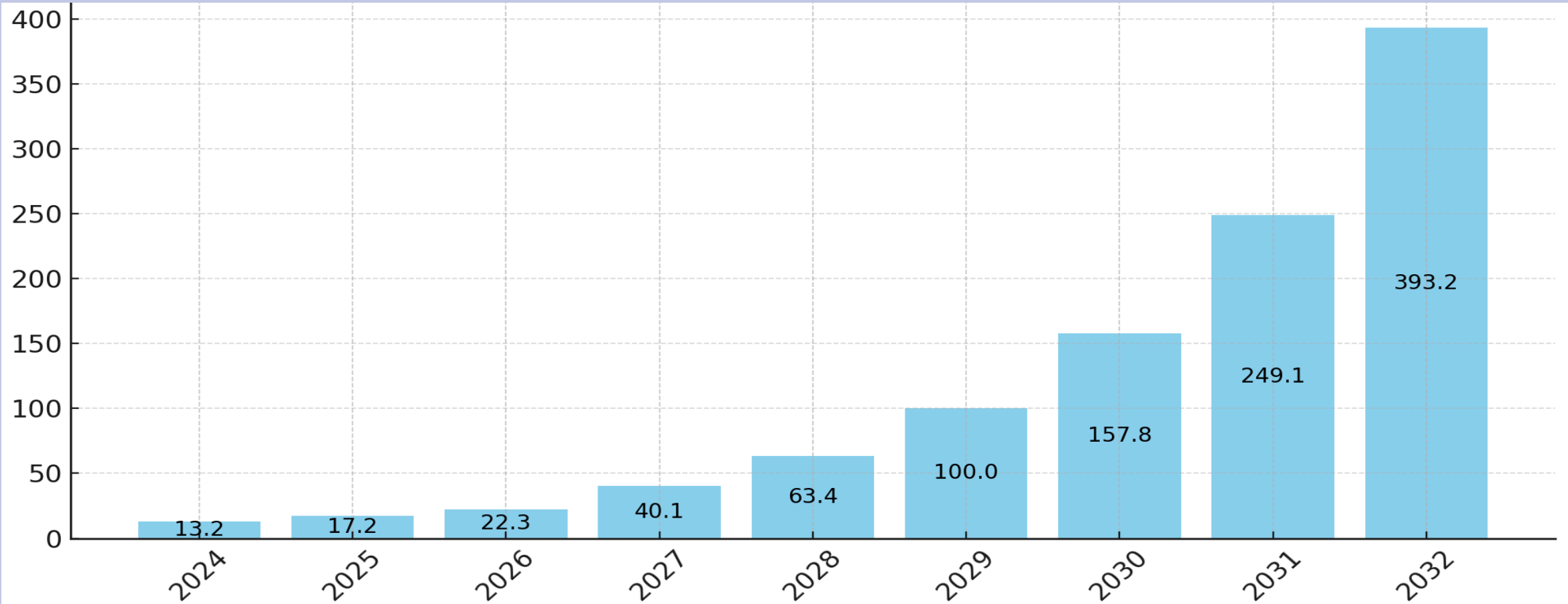
量子AI事業推進本部（新設）：「量子AIクラウドデータセンター」と「物流×量子×AI」部門を統括し、専門家チームを組成・拡充、グループ連携窓口を設置します。

既存部門との連携強化：HPC・AIソリューション事業部と技術・顧客基盤を共有し、新ソリューションの実用化と安定成長を図ります。

経営管理・外部エコシステム：財務・人事・法務体制を強化し、国内外パートナーとの戦略的連携で「物流量子AIエコシステム」を30名構築します。

今後の体制整備：5年間で専門人材を名増員、事業フェーズ別組織再編・権限移譲を行い、KPI・PDCAで迅速な意思決定と継続改善を実現します。

売上推移目標推移



100億
達成